

17回 附設同窓会 就職セミナー 結果報告

去る12月8日(土)に「キャンパス・イノベーションセンター東京」にて2014年卒向け附設就職セミナーが開催されました。僭越ながら事務局を代表しまして、57回生の山根有紀也がセミナーのレポートをさせていただきます。

報告に先立ちまして、まずは年末の大変ご多忙の中、学生の為にお集まりいただいた社会人の皆さまに深く御礼を申し上げます。社会人の皆さまのご協力なしに、本セミナーを開催することはできませんでした。今後とも学生の就職活動と本セミナーにご理解とご助力を賜れば幸いです。

また同時に、積極的に参加してもらった学生諸兄にも感謝いたします。

本就職セミナーは今回で17回目を迎えました。昨年10月に牛嶋東京副支部長の呼びかけで、以下、8名の有志からなる事務局が結成され、セミナーを学生諸兄にとって有意義で実り多き場とすべく、連日連夜、議論に次ぐ議論、試行錯誤が重ねられました。

第17回 就職セミナー事務局メンバー

26回生	牛嶋 啓二	東京支部 副支部長
38回生	大倉 豊	Google
50回生	山口 雅彦	博報堂
51回生	大津 良太	電通
51回生	森井 啓允	ソフトバンク
53回生	瀧下 雄大	三菱商事
55回生	五十嵐 丈鑑	博報堂
57回生	山根 有紀也	東京大学薬学部4年生

セミナーの出席者数としましては、参加学生33名、社会人24名、内定者9名、および同窓会関係役員7名の計73名。社会人の皆さまは金融、メーカー、商社、メディア、IT、官公庁等と業界を越えてご参加いただきました。後輩の就活支援のためにこれだけの方々にお集まりいただけたのも、附設ネットワークの強さの表れかと存じます。それに加えて、今年も7名もの附設OBのご子息・ご息女にもご参加いただき、同窓会が目指している附設卒業生のみならず、ご家族まで含めた幅広い「附設ファミリー」のネットワーク形成に少しでも貢献できたのではと感じました。

さて、セミナーは50回生の山口先輩によるセミナー全体の流れ説明から始まりました。前半のプログラムは基本的に事務局+学生+内定者のみで徹底的に自分の内奥を見つめなおすパート、後半のプログラムはそれに社会人が加わり、前半の気付きを踏まえ上で仕事や就職について一緒に考えるパートと、2つの大きなプログラムに分けて実施されました。その後51回生の森井先輩より「就職活動の方法論」と題する講演が行われました。変わり者の多い附設OBOGの中でも異色の経歴を歩んで来られた森井先輩から、自身の体験を踏まえ、いかに上手く自分をアピールする事が重要かというメッセージを聞いて、出鼻から「就活」の概念を覆された就活生も少なからずいたようでした。

その後、学生5~6人+内定者1人のグループを作り、事前を書いてきてもらった「自己アピールシート」の共有が行われました。この「自己アピールシート」とは、本セミナーにお申込みいただいたすべての学生に課せられた事前課題で、(1)400字で自由に自分をアピールしてください(2)社会に出て将来成し遂げたいことを400字で書いてくださいという2つの質問から構成される、いわゆる「エントリーシート」です。事前エントリーシートは、附設就職セミナー史上初めての試みでしたが、学生の皆さまには意欲的に取り組んで頂いたようで、さすが附設生と唸らざるを得ないような非常に印象的でユーモアに溢れた自己PRばかりでした。各グループで、自己アピールシートを共有した後、お互いのシートをもとに自由に議論し、共有や議論の中で各々が気づいたことをホワイトボードにまとめて、全体に向けてプレゼンテーションしました。

その後 51 回生の大津先輩より「就職活動生に喝！」と題した講演が行われました。友人同士のネットワークの大切さや、就活を乗り切るための tips がいくつも散りばめられた話でした。それらのアドバイスを踏まえた上で、グループ内でお互いフィードバックをしあい、「自分」そして「他人」というものを改めて見つめなおすことで、それぞれの中で「気付き」を発見してもらいました。

続いてセミナーは、長谷川同窓会会長による就活生への応援メッセージを皮切りに、社会人とのセッション+模擬面接パートへと移りました。

社会人とのフリーセッションでは、業種毎にテーブルをわけることで、その業界で働く先輩方とその業界を志望する学生とが、ざっくばらんに話す場を設けました。セッションの中では先輩の質問をうけ答えに窮するような場面や、逆に先輩に質問する場面など、グループごとに多様で活発な、そして附設生独特の、メリハリのきいた議論が繰り返されました。附設出身以外の学生の皆さんも積極的に参加されており、大変な盛り上がりを見せていました。

その一方、模擬面接ブースとして、面接経験のある社会人の先輩方による「模擬面接」を行っていただきました。まだ面接などが本格化していない 12 月上旬の段階で、一度面接を経験してもらいたいという事務局の意図のもと企画された（こちらも歴代初めての）試みで、多くの就活生が刺激を受けていた様子でした。10 分の面接の中で自分を如何に表現することがどれだけ難しいかを実感してほしい、そしてそれが面接官にどのように受け取られるのかを面接官本人からのフィードバックを受ける中で考えてもらいたい、というねらいは、達成できたように思います。セミナー第一部のまとめとして、全体に向けて有志による学生、社会人より「気付き」を発表していただいた後、長縄東京支部長、渡辺顧問からそれぞれ、今回のセミナーの総括と学生への熱い思いを伺い、第一部のプログラムを盛況の中で終了しました。

その後、そのまま第二部の懇親会場となる居酒屋へと向かいました。第二部は、第一部よりフランクな雰囲気の中で、しかしよりいっそう真剣に、各テーブルで業界についてのアドバイスや質問などが飛び交い、学生同士の情報交換や最後まで活気に満ちた集いとなったかと思えます。

なお、当日のセミナー終了時に学生・内定者および社会人の皆様にアンケートをお願いしましたので、その結果を添付いたします。今回の試みに対して、学生の皆さまには非常に高い評価を頂く一方で、社会人の方からは、学生に対する耳の痛い意見含めいろいろなアドバイスを頂きました。社会人かとのセッションの形式や模擬面接などでの時間配分など、いくつかご指摘もいただきました。これらの貴重なご意見は、次回以降の改善点にしていければと考えております。我々事務局の不手際もあり、社会人・学生の皆様にはご迷惑をおかけした部分もあるかと思えます。この場を借りてお詫び申し上げます。

このセミナー報告が皆さんに届く頃には、皆さんは、本格的な就職活動に入っていることと思えます。OBOG 一同、皆さまが満足いく就職活動ができますことを祈念するとともに、ご相談などあれば事務局メンバー含む、様々な分野で活躍する附設の先輩に遠慮なくコンタクトしてきてください。きっと皆さまの力になってくれることでしょう。

本セミナーの開催にご協力いただいた社会人および内定学生の皆さん、同窓会関係役員の皆さまに、重ねて深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

文責 就職セミナー事務局 山根有紀也 (57 回生 東京大学薬学部 4 年生 (広告代理店に内定))

添付：アンケート結果サマリー

2013 年 2 月 4 日

就職セミナー参加者のアンケート結果(サマリー版)

参加学生有効回答数 32 名の 5 段階評価

1	全体評価	4.73
2	セミナーの目的である”気づき”を得られたか？	
	⇒ 社会人との交流の場で	4.50
	⇒ 模擬面接の場で	4.72
3	社会人からの満足なフィードバックを得られたか？	4.81
4	セミナー開催時期	(人数)
	⇒ 適切	30
	⇒ もっと早く(12月解禁前)	1
	⇒ もっと遅く(就活具体化後)	1
参加学生の主なコメント		
センパイ方と本音で語り合える貴重な機会だった		
他の説明会では得ることのできない経験だった		
内容よりも、議論で欠点をどんどんついでくれるのが新鮮でした		
自分の考えをアウトプットする機会が不足していたことに気づいた		
学生と社会人との意識、知識の差を実感した。自分の視野の狭さを痛感した		
参加社会人からの主なコメント・アドバイス		
昨今の就職難の割りには、皆さんのんびりしていた		
もう少し積極的でキラキラしてて欲しかった		
もっともっと大志を持ってほしい グローバル視点が欠如している		
自分の強み／弱みをさらけだして、誠実に		
自分の言葉で自分を表現できるよう努力が必要		
「何がやりたいか」＋「何でやりたいか」を考えること		
自分の成長だけでなく、社会や会社、組織にいかに関与するかも重要		
業界は最初から決めつけず、幅広く話を聞くこと		